

# 2020年度 事業報告

(期間：2020年4月1日～2021年3月31日)

## 1. 事業状況

### (1) 顕彰事業（京都ヒューマン賞）

・当初6月に予定していた2020年度「京都ヒューマン賞」の贈呈式は、新型コロナウイルス感染拡大のために9月に一旦延期したものの、最終的に開催を断念した。

このため、授賞者・団体には、宮川専務理事および事務局長が個別に訪問し、表彰状および副賞の盾、懸賞金100万円（銀行振込）をお贈りした。

2021年度の贈呈式では、2021年度の授賞者・団体とともに、2020年度の授賞者・団体を壇上で表彰させていただく予定。

#### 【2020年度 授賞者・団体】

- ・工藤充子氏（特定非営利活動法人 ほっとスペースゆう 理事長）
  - ・特定非営利活動法人 京都マック
  - ・京都森林インストラクター会
- ・4月7日に、2020年度「京都ヒューマン賞」の授賞者決定のプレス発表を行った。  
併せて、オムロン基金およびオムロン株式会社のホームページ、オムロン基金のFacebookで授賞者決定を告知した。
- ・8月31日に「2021年度 京都ヒューマン賞授賞候補者・団体を募集」について、プレス発表を行った。併せて、オムロン基金およびオムロン株式会社のホームページで告知した。
- ・2021年2月16日開催の選考委員会で「2021年度 京都ヒューマン賞」の最終授賞候補者（個人2人）を選出し、3月16日開催の第41回理事会（リモート会議）にて授賞者・団体を最終決定した。

#### 【2021年度 授賞者・団体】

- ・岡本 民夫 氏 同志社大学 名誉教授  
京都ボランティア協会 名誉会長（前理事長）  
京都医療ソーシャルワーカー協会 名誉会長（前会長）  
一般財団法人宇治市福祉サービス公社 名誉理事長（前理事長）  
オムロン基金 前理事（2020年6月退任）  
ほか、多数の役職・公職を歴任
- ・中西 豊子 氏 高齢社会をよくする女性の会・京都 前代表  
認定特定非営利活動法人ウィメンズ・アクション・ネットワーク（WAN） 元理事長

### (2) 助成事業

- ・2020年度の助成事業は、一般助成、子ども食堂ともに、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、実施件数は計画を下回る結果となったが、助成事業の合計金額では1,116万円と2年連続で1,000万円を超える助成金額となった。（過去最高金額）

- ・2020年度の一般助成事業は、申請および問い合わせ件数23件に対して助成実施は19件（前年度比24件減）、総額6,087,200円（予算比約1万円減、前年度比約48万円増）の助成を行った。
- ・3年目を迎えた子ども食堂への助成は、24件に対して総額3,159,200円を助成した。助成件数は前年度比で9件減、助成金額は約138万円減、予算比で約134万円減となった。
- ・子ども食堂が新型コロナウイルス対策のために購入する物品および修繕費用に対して100%助成することとし、9件、総額1,255,000円を助成した。
- ・子ども食堂の参加者の健康チェックのために、非接触かつ瞬時に体温が測定できる「オムロン製皮膚赤外線体温計」を無償提供することとし、京都府内97カ所の子ども食堂に合計98本の体温計を提供した。費用は体温計の購入費として66万円。

## 2. オムロン基金の事業認知度向上のための広報活動

- ・子ども食堂助成制度について紹介するパンフレットを2,000部作成し、子ども食堂のほか、京都府、京都市をはじめ府内市町村の関連部門、社会福祉協議会等に配布した。
- ・事務局長が新規に助成した子ども食堂5ヶ所を訪問し意見交換したが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、子ども食堂への訪問を控えることとした。

## 3. 基本財産の債券購入

- ・2020年度に満期を迎える債券はなく、基本財産の債券買い替えは行わなかった。

## 4. 経常収益

- ・当法人の収入は、基本財産の債券運用によって得られる運用益とオムロン株式会社株式20万株の配当金、オムロン株式会社からの寄付金によって構成されている。
- ・債券運用益は、昨年度に定期預金から債券に変更したことにより、前年度の444万円から456万円へ約12万円増加した。
- ・オムロン株式会社株式20万株の配当金収入は、配当金が1株あたり前年度と同額の年間84円となり、1,680万円となった。このうち、1,530万円を経常収益（公益目的事業会計）に計上し、150万円を事業積立資産に繰り入れた。
- ・以上により、公益目的事業会計の経常収益額は約1,712万円、法人会計の経常収益額は約273万円、経常収益合計は約1,986万円となった（予算比約410万円減、前年度実績比約337万円減）。
- ・公益目的事業会計の収支相償は、約3万円の赤字。

## 5. 資金調達および設備投資

当期間において、資金調達のための借入れや重要な設備投資（除却又は売却を含む）はありません。

## 6. 対処すべき課題

- ・新型コロナウイルスの感染拡大を受け、顕彰事業（京都ヒューマン賞）および助成事業は大きな影響を受けることとなった。事業積立資産および法人運営積立資産が積み上がったため、今後の収入見通しを踏まえ、両積立資産の減少のための計画策定を行っていく。
- ・京都ヒューマン賞の授賞候補者・団体の発掘、助成制度の周知を引き続いて行う。

## 7. 理事会、評議員会、選考委員会等の開催

2020年4月20日 監事による監事監査（計算書類および事業報告等の監査）

2020年5月1日 第37回理事会（書面決議）

- 議案 ・ 2019年度事業報告および計算書類承認の件
- ・ 第17回定時評議員会招集の件

2020年5月28日 第38回理事会（書面決議）

- 議案 ・ 株主権行使承認
- ・ 京都府への事業報告等に係る提出書類承認
- 報告 ・ 理事長および専務理事の職務執行状況報告

2020年6月11日 第17回定時評議員会（書面決議）

- 議案 ・ 2019年度計算書類等承認
- ・ 理事の選任
- 報告 ・ 2019年度事業報告
- ・ 2020年度事業計画および収支予算の報告
- ・ 株主権行使承認の報告

2020年6月11日 第39回理事会（書面決議）

- 議案 ・ 立石文雄を代表理事（理事長）とする。
- ・ 宮川博司を業務執行理事（専務理事）とする。

2020年11月6日 第40回理事会（書面決議）

- 議案 ・ 選考委員の承認

2021年2月16日 2021年度「京都ヒューマン賞」選考委員会（リモート会議）

- 議案 ・ 京都ヒューマン賞 最終授賞候補者・団体の選考

2021年3月16日 第41回理事会（リモート会議）

- 議案 ・ 2021年度「京都ヒューマン賞」授賞者・団体の承認
- ・ 長期継続助成の承認
- ・ 事業積立資産への繰り入れ承認
- ・ 2021年度 事業計画および収支予算承認
- ・ 選考委員の承認
- 報告 ・ 2020年度 一般助成事業の状況報告
- ・ 2020年度 子ども食堂助成事業の状況報告
- ・ 新型コロナウイルス臨時対策費助成報告
- ・ オムロン製皮膚赤外線体温計の提供報告
- ・ 子ども食堂助成制度 助成上限金額の変更報告
- ・ 2020年度 事業報告および決算見込み報告
- ・ 理事長および専務理事 職務執行状況報告

以上